

合談会社道路で工事旧復災震 ぞいさないゆる悪改条件働労

関東ダンプで怒りの宣伝行動

東日本大震災から五年になろうとしています。いまだ復興は進まず、被災者の苦しみは続いています。そんななか、震災復旧工事をめぐり道路会社らによる談合が発覚しました。復興税など巨額の予算を食い物にした事件に怒りの声が上がっています。



寒風のなか大成ロテック工場前で訴える茨城ダンプ支部の大平東勝副委員長。

東京地検特捜部は一月二〇日、日本道路、前田道路、大成ロテック、東亜道路各本社に搜索を行いました。また公正取引委員会はNIPPO、大林道路など計二〇社にたいする強制調査に着手、事件は業界ぐるみの様相を呈しています。

一月二十六日、関東ダンプ協議会5支部合同で江東区中央防波堤で新春宣伝行動を行い、その一環として同地にある大成ロテック青海工場に労働者の立場から抗議しました。大手ゼネコンを含め復興関係業者は膨大な利益をあげています。しかし、依然としてダンプを含め下請業者、労働者には低単価を強要しています。今回の

談合事件で今後各社に多額の課徴金支払いが命じられる可能性が出てきました。過去同様のケースで、課徴金支払いを口実に下請単価を引き下げた悪質業者がいました。また、公

共工事指名停止などによる仕事減の可能性も否定できません。

当日は工場に入りまするダンプ労働者を激励するとともに、道路業界は談合事件の負担を下請、労働者に押しつけるな」と訴えました。



中央防波堤には東京都管理の残土処分場があり、都内各地から多くのダンプが出入りしています。



関東ダンプ一丸となって組合員拡大、要求前進に頑張るぞ！

健康診断会のお知らせ

今年も組合事務所にてレントゲン車を手配し診察、検査は二階会議室で行います。検査費用5832円のうち組合が1832円を補助し組合員の自己負担は4000円だけに設定しています。受診希望者は三月一〇日までに連絡を（人数制限あり）。
日時 三月二七日（日）午前一〇時
場所 組合事務所
項目 医師診察、血圧測定、尿検査、計測（身長体重視力）聴力、胸部レントゲン、血液検査、心電図、骨密度測定（女性のみ）
法令で定める検査です。

【組合員紹介】

アブドゥラヒ・インナム（32歳）

「ガーナから来ました」

少子高齢化にともない一部業種では労働力不足が深刻です。海外から労働者を受け入れざるを得ない業者が増え、組合も国際化の流れと無縁ではありません。

現在外国人組合員が十二人います。国籍は中国、ブラジル、韓国が多数ですが、はるばる西アフリカから来ているガーナの組合員もいます。

下野市在住のアブドゥラヒ・インナム（32）は三年ほど前ガーナから来日、コンクリート二次製品工場に勤めています。

以前同工場に勤めていたガーナの元プロサッカー選手を紹介されて来ました。ガーナでは大学でコンピュータープログラムの勉強をしましたが、国内ではまだIT関連の仕事は少ないようです。

敬虔なイスラム教徒で豚を食べられないため日本での食生活は大変です。豚肉だけでなく豚骨スープや油など豚由来のものは一切だめです。

雇用主によると、アフリカ諸国のなかでもガーナの人は真面目とのこと。

母国にいる家族に仕送りをするため、寒い日本で頑張っています。



母国語は英語。マラソンとか早そう（想像）。

主な日程 三月二日午後一時～日祥運輸倉庫不当労働行為事件栃木県地方労働委員会
三月四日午前十一時三〇分～菅谷労災裁判宇都宮地裁
三月九日午前一〇時～春闘中央行動衆議院第一議員会館